

ようやく聴ける、ヒラリーのベートーヴェン!

ふり返れば、ヒラリーを聴き続けてもう四半世紀にもなる。まだ鮮明に覚えている2000年秋の初来日ときのステージの姿。ヤンソンス指揮のベルリン・フィルとショスタコーヴィッチの協奏曲だった。待ちに待ったヒラリーとの出会い。当時わたしはすでに彼女の音楽に魅了されていたのだ。1999年にリリースされたジンマン指揮ボルティモア交響楽団との共演によるベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲とバーンスタインのセレナーデのカップリングCDの解説を書くにあたって、まず彼女のデビュー盤のバッハの無伴奏ソナタ第3番とパルティータ第2番、3番のディスクを改めて聴き直しながら、20世紀のすべての巨匠たちの演奏とは別世界の音楽に感動したのを思い出す。その後、古典から現代、さらには彼女のために書かれた新作まで多くの協奏曲を聴いてきた。そのすべてが最高だった。

いつも感じる不思議なことに、ヒラリーの演奏ではどんなに超絶技巧の作品でもその演奏技巧に耳を奪われることがまったくなく、まさに響いている音そのものが形成する音楽の形、作品からのメッセージ、そして

ヒラリーが描きあげようとしている音楽を堪能できるのだ。彼女はインスタグラムやユーチューブ、そして多くのインタビューで「物心ついた時からベートーヴェンの音楽はよく聴いていた」と繰り返し語っている。確かに世界中の名門オーケストラと協奏曲で多く共演してきたが、ベートーヴェンのソナタの公演は殆どなかったのだ。しかし、それがようやく実現する。先日の音楽雑誌インタビューで「ベートーヴェンの曲はいつでも演奏することができますし、明日誰かの代わりに演奏してと言われてもできるくらい、常に身近に存在しています」と語っていた。ベートーヴェン自身が初版譜タイトルに「ほとんど協奏曲のように、きわめて協奏の様式で書かれたピアノ・フォルテとオブリガート・ヴァイオリンのためのソナタ」と印刷させた《クロイツェル・ソナタ》と、それから10年近く年月を隔て、全く異なる様式によって作曲された4楽章構成の最後のヴァイオリン・ソナタをヒラリーと共演歴わずかにして最高の友人という実力派ピアニストのヘフリガー(あの名テノール歌手エルンストの息子)がどのようなセッションを繰り広げるのか楽しみだ。

平野 昭



ヒラリー・ハーン
(ヴァイオリン)
Hiraly Hahn, Violin



アンドレアス・ヘフリガー
(ピアノ)
Andreas Haefliger, Piano

3度にわたるグラミー賞受賞ヴァイオリニストであるヒラリー・ハーンは、明快で華麗な演奏、非常に幅広いレパートリーに対する自然体の解釈、そして、ファンとの一体感ある結び付きにより、名声を博している。ハーンは、創造性に富む音楽作りへのアプローチと、世界中の人々と音楽的体験をシェアするための熱心な取り組みにより、多くのファンに愛されている。最近では、「100日間の練習(100 Days of Practice)」というインスタグラム・プロジェクトを立ち上げ、自身が練習している様子を撮影した動画を100日間連続で投稿した。このように舞台裏での練習をファンに公開することは、これまで彼女とファンとの間にあった、音楽の創作過程における垣根を取り払うことを目的としている。

2018/19シーズンは、これまでの音楽キャリア全体を繋いできた1本の糸(バッハ)に重点的に取り組んだ。10月には、バッハの無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第1番、ソナタ第1番、第2番を収録したCDをリリースした。これは、ハーンがわずか17歳の時にリリースした最初のアルバム「ヒラリー・ハーン・プレイズ・バッハ」から20年の歳月を経て再びリリースされた、ファンおよび批評家待望のアルバムである。バッハは、最初の師匠クララ・ベルコヴィチの下で音楽の勉強を開始した頃から、常にハーンの人生の一部となってきた。ハーンは、バッハのパルティータやソナタの何楽章かを、しばしば彼女の無料コンサートのプログラムに組み込んでいる。2018/19シーズン後の1年のサバティカル休暇からの復帰作であると同時に、ドイツ・グラモフォンへの6年振りの新作となるアルバム「パリ」を2021年1月にリリース。彼女のために書かれたエイノホニ・ラウタヴァーラによる「2つのセレナーデ」の世界初演録音の他、エルンスト・ショーンソンの「詩曲」、1923年パリで初演されたセルゲイ・プロコフィエフのヴァイオリン協奏曲の第1番を収録している。

アンドレアス・ヘフリガーは、名テノール歌手エルンスト・ヘフリガーを父にもち、スイス人音楽一家の元に生まれドイツで育った。15歳でニューヨークのジュリアード音楽院へ入学、ほどなくして注目を得ることとなった。アメリカではニューヨーク・フィルを筆頭に、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、ボストン響、ピッツバーグ響、シカゴ響、サンフランシスコ響など主要オーケストラと次々に共演。ヨーロッパでもロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロッテルダム・フィル、ミュンヘン・フィル、ブダペスト祝祭オーケストラ、ベルリン・ドイツ響、パリ管、ロンドン響、ウィーン響といった著名オーケストラと共演を重ねている。ロンドンのヴィグモアホールでは、モーツァルトからリゲティまでの作品とともにベートーヴェンのピアノ作品を全曲演奏するヘフリガー・シリーズ「バースペクティブ」を定期的に開催し、このリサイタル・シリーズは彼の近年のCDとも関連づけられている。また、コペンハーゲン・レイジアン美術館に於いて、トップクラスの音楽家を招いての「リハーサルやコンサートを行い、2019年1月にはロッテルダム、シンガポール、マドリード、香港でツアーを行った。ソニークラシカルよりモーツァルト、シューマンといったソロCDの他、デッカよりタカール・弦楽四重奏団、パリトンのマティアス・ゲルネとのCDをリリース。ゲルネとのシューベルトの録音は、ドイツ・レコード批評家賞を受賞した。2018年春、BISレコードより「バースペクティブ」シリーズの最新盤をリリース。また2020年春には初のコンチェルトアルバムがリリース、バルトークの《ピアノ協奏曲第3番》、ラヴェルの《左手のためのピアノ協奏曲》、ディーター・アマンのピアノ協奏曲を収録している。

2022年 ヒラリー・ハーン 日本公演スケジュール

- 2/16(水) サントリーホール (問)N響ガイド 03-5793-8161
指揮: パーヴォ・ヤールヴィ パーバー: ヴァイオリン協奏曲
- 2/24(木) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
(問) 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255
- 2/25(金) 愛知県芸術劇場コンサートホール
(問) 東海テレビチケットセンター 052-951-9104 (平日10時~18時)
- 3/1(火) アクアシティ浜松 中ホール
(問) 公益財団法人浜松市文化振興財団 053-451-1114
- 3/2(水) 浜離宮朝日ホール
(問) 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990
- 3/4(金) 水戸芸術館コンサートホールATM
(問) 水戸芸術館 チケット予約センター 029-231-8000

<特別割引チケットのご案内>

(ジャパン・アーツびあホールセンター及びWEBジャパン・アーツびあで受付、川崎公演は神奈川芸術協会でも受付。)

- 学生席 (各ランクの半額/座席の指定が可能です)
残席がある場合に限り、1/26(水)10:00より受付を開始いたします。※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)学生席はジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も、一般価格の半額です。
- シニア・チケット=65歳以上の方は、S.A席を会員料金でお願いいたします。
- 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京公演はジャパン・アーツびあホールセンターで、川崎公演は神奈川芸術協会で受付)

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。>

- ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
 - ②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
 - ③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。
 - ④演奏中は入場できません。
 - ⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
 - ⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
 - ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
 - ⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
 - ⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。
- 公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を Twitterでフォローする @japan_arts 見極めて慎重に判断させていただきます。



ヒラリー・ハーンとパリの繋がりを象徴する珠玉の3曲。
待望のプロコフィエフ&ショーンソ。

ヒラリー・ハーン パリ

ショーンソン: 詩曲
プロコフィエフ: ヴァイオリン協奏曲第1番
ラウタヴァーラ: 2つのセレナーデ

発売・販売元: ユニバーサル ミュージック <http://www.universal-music.co.jp/classics/>
ユニバーサル ミュージックストアから商品が購入できるようになりました! (一部商品を除く) <http://smarturl.it/um-classics>
ニュースレター会員募集中! 無料で最新情報を! <https://lp.universal-music.co.jp/newsletter/>



クラシックはドイツ・グラモフォン

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)
フランス放送フィルハーモニー管弦楽団
ミッコ・フランク (指揮)
録音: 2019年2月、2019年6月/パリ
MQA UHQCD: UCCG-45003
定価 ¥3,080 (本体 ¥2,800 税率10%)

絶賛発売中!

Access Here ▶

